

2023 年春季 IIAS 塾ジュニアセミナー
－ 「独立自尊の志」 養成プログラム －
募集要項

主催者（公益財団法人国際高等研究所「IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会」）の指示の下に、パーソナル会場（原則として自宅）において、リモート(遠隔)により受講する WEB 学習プログラムである。

(1) 募集対象

日本国に所在する高校及び大学の学生で、IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会において、受講を認めたもの概ね 35 名。ただし、インターネットが利用できる端末を準備でき、WEB による受講環境を有するものと認められた者に限る。

(2) 応募方法

IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会が管理する「Google フォーム」より申込必要事項を入力し送信。ただし、高校生にあつては、当該高等学校の教員の推薦及び保護者の同意を得たうえで、「推薦書・同意書」を e-mail 又は郵送により事務局宛てに提出すること。申込締切は、2023 年 1 月 17 日（火）

(3) 受講決定

選考結果は、2023 年 1 月下旬、応募者本人宛て、申込時に「Google フォーム」に登録された住所へ郵送により通知。

(4) 開催日

<プレミーティング>2023 年 3 月 19 日（日）
<当日受講>2023 年 3 月 25 日（土）～3 月 27 日（月）
ただし、2 月上旬、受講決定者には、テキスト等の教材を配布・配信



(5) 開催場所

<メイン会場>

公益財団法人国際高等研究所
〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9-3

<パーソナル会場>

原則として、受講生の自宅



2022 年 11 月

主 催 : 公益財団法人国際高等研究所 (IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会)
後 援 : 京都府・奈良県・滋賀県・兵庫県・和歌山県の各教育委員会 (予定)
協 力 : 京都大学、大阪大学

開講の辞

IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会
委員長 松本 紘
(公益財団法人国際高等研究所所長)



満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」は、2015年5月からは、西欧的「近代化」の先を展望するため、「日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて」をテーマに掲げ、思想・文学、政治・経済、科学・技術の各分野にわたって、日本の近代化を導いた人々の思想と行動、そしてその光と影を追い、『新たな文明』の萌芽を探ってきた。

特に、本年度からは、新たな取組みとして、「ゲーテの会」を中核とする<「新たな文明」の萌芽、探求を！>プロジェクトを起ち上げ、これまでの「ゲーテの会」の理念を継承するとともに、けいはんな学研都市の立地研究機関・企業等との連携を深め、新たな枠組みの下に人類的課題に立ち向かうこととしている。

こうした取組みを通じて、日本の未来に思いを馳せ、「ゲーテの会」の構想の趣旨を体現する者の出で来ることを期待して、日本の未来を担う18歳前後の高校生、大学生を対象に、明治の教育者でもある福澤諭吉が目指した「独立自尊の志」養成プログラムを構想し、「IIAS 塾ジュニアセミナー」の開講を企画した。

その理（ことわり）は、現代社会において、経済成長至上主義的風潮もさることながら、教養教育の衰微の傾向の下で全人的人間形成が困難となっていることにある。次代を拓くには、遠くギリシャの先哲たちの声に耳を傾けるまでもなく、科学技術のみならず人間力の基礎をなす哲学（理性）と芸術（感性）によって鍛えられた「独立自尊の志」を有する「全人」が求められている。高等学校・大学を問わず、心ある教育現場では、現代社会が待望するこうした人物養成への機運が高まっている。

IIAS 塾ジュニアセミナー「独立自尊の志」養成プログラムの開講は、こうした動きを背景にしてのことである。

本セミナーは一般財団法人三菱みらい育成財団の助成を受け実施しております。



プログラム (案)

(1) 日程 (時間割は、講師の都合等により、変更することがあります。)

■ プレミーティング 3月19日(日)

※ Googole クラスルームを活用するなどオンラインにより実施。実施時間は担当 TA と調整のうえ、受講決定者へ通知

【趣 旨】 オンデマンド学習により認識を深めた課題・論点、質問事項等の共有、及び受講決定者と担当 TA との交流懇談

【参加者】 受講決定者及び担当 TA

■ 当日受講

第1日目 3月25日(土)

- 9:00～9:30 受付 (メイン会場とパーソナル会場と通信)
- 9:30～9:45 プログラム内容説明
- 9:45～12:00 自己紹介 (受講生/T A)
- 12:00～13:00 <休憩>
- 13:00～13:15 開講式
- 13:15～15:45 グループ討議 (哲学分野)
『生命とは何か。自然観・生命観、彼我の違いと変遷』
- 15:45～17:45 グループに分かれてリモート交流・懇談 * 出入り自由

第2日目 3月26日(日)

- 9:00～9:30 受付 (メイン会場とパーソナル会場と通信)
- 9:30～12:00 グループ討議 (科学分野)
『食と分解から世界をとらえなおすー「いのち」をめぐる文理芸融合的研究』
- 12:00～13:00 <休憩>
- 13:00～17:15 グループ討議 (技術分野)
『感染症に向き合った日本人、偉大な先人、二人の軌跡』
(13:00～15:00) その1: 天然痘に挑んだ緒方洪庵
(15:15～17:15) その2: 「病を未発に防ぐ」予防医学を目指した北里柴三郎
- 17:15～17:45 グループに分かれてリモート交流・懇談 * 出入り自由

第3日目 3月27日(月)

- 9:00～9:30 受付 (メイン会場とパーソナル会場と通信)
- 9:30～11:00 全体討議
- 11:00～12:00 グループに分かれて意見交換・各自まとめ
- 12:00～13:00 <休憩>
- 13:00～15:30 レポート報告 (各自)
- 15:30～15:40 <休憩>
- 15:40～16:00 講評
- 16:00～16:15 閉講式
- 16:15～17:00 グループに分かれてリモート交流・懇談 * 出入り自由

(2) 運営の形

1. 事前準備

【Google Work Space・Classroom の活用について】

受講が決定した者は、使用する端末に Google Chrome ブラウザをインストールし、IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会事務局（以下、「事務局」という）からの指示に基づき、Google Work Space のユーザー登録を受け、そのアカウントを取得する。

【学習について】

事務局から基本テキスト、講義動画等の教材の配布・配信を受け、事前のオンデマンド学習を進めるとともに、学びたいことなどを取りまとめ、「受講届」と共に提出する。なお、学習の促進を図るため、開催前に実施する T A を交えてのオンラインプレミーティング（実施予定日：3月19日（日））に参加する。

【「受講のしおり」について】

参加に当たっての注意事項等を記載した「受講のしおり」、その他参加に当たり作成すべき書類の配布・配信を受け、当日に備える。

2. 当日

オンライン（zoom ミーティングを活用）により、T A を交えてグループ討議を行うとともに、講師との質疑応答、論点整理等を通じて討議を深める。

プログラムの最終日に、討議結果の概要とともに、プログラムに参加して得たもの等についてのレポート報告を受講者各自が行う。

3. 事後

受講修了後 1 ヶ月を目途に学習全般及び各分野の学習内容に関するレポート(小論文)を提出する。

(3) 受講場所

原則として、自宅

(4) 参加費

基本テキスト代は、主催者が負担。ただし、参考テキストは、原則として各自で入手。

(5) 使用教材

1. 基本テキスト


基本テキスト	IIAS 塾「ジュニアセミナー」基本テキスト (Vol. 1) 『生命観・死生観を考える』 ～ 科学技術の発展の下での人間の在り方を問う。～
--------	---

2. 講義動画


①哲学分野


講義動画	『生命とは何か。自然観・生命観、彼我の違いと変遷』
参考テキスト	鈴木晶子著「AI 時代の技術文明と人間社会 —AI 技術と人間の未来」総務省 学術雑誌『情報通信政策研究』第 2 巻第 1 号 (AI 特集号) https://www.soumu.go.jp/main_content/000592823.pdf
講師	鈴木 晶子 (京都大学名誉教授) 京都大学学際融合研究教育推進センター・人工知能研究ユニット特任教授/ 理化学研究所革新知能統合研究センター客員主管研究員/ 総務省情報通信政策研究所特別研究員。文学博士。京都大学大学院教育学研究科教授を経て現職。ベルリン自由大学客員教授。日本学術会議会員 (第一部)、京都市教育委員などを歴任。 教育哲学、科学哲学、歴史人類学、死生学が専門。主な著書に『イマヌエル・カントの葬列 —教育的眼差しの彼方へ』(春秋社)、『智恵なすわざの再生へ—科学の原罪』(ミネルヴァ書房)、“Pandemics in the Anthropocene. Paragrana Internationale Zeitschrift für Historische Anthropologie” Vol.30/2 (De Gruyter Verlag; Berlin 2021)、“Takt in Modern Education” (Waxmann; Münster/ New York 2011)など。現在、人新世 (Anthropocene) を生きる人間のあり方や AI による技術革新に伴う人間性の再定義に関する研究プロジェクトに取り組んでいる。 

②科学分野

講義動画	『食と分解から世界をとらえなおす—「いのち」をめぐる文理芸融合的研究』
参考テキスト	藤原辰史著『分解の哲学—腐敗と発酵をめぐる思考』青土社 (2019 年)
講師	藤原 辰史 (京都大学准教授) 1976 年生まれ。日本の農業史研究者、京都大学人文科学研究所准教授。専攻は、農業史・食と農の思想・ドイツ現代史。1999 年京都大学総合人間学部国際文化学科卒業。2013 年京都大学人文科学研究所准教授。 2013 年・『ナチスのキッチン』で第 1 回河合隼雄学芸賞 219 年・『分解の哲学 — 腐敗と発酵をめぐる思考』でサントリー学芸賞。『ナチス・ドイツの有機農業—「自然との共生」が生んだ「民族の絶滅」』柏書房 2005、『カブラの冬—第一次世界大戦期ドイツの飢饉と民衆』人文書院 レクチャー第一次世界大戦を考える 2011 

③技術分野

講義動画	『感染症に向き合った日本人、偉大な先人、二人の軌跡』 (その1) 天然痘に挑んだ緒方洪庵
参考テキスト	『緒方洪庵に学ぶ～ただ己を捨てて人を救わんことを希うべし～ (IIAS 塾「ジュニアセミナー」TEXT (VOL. 60))
講師	<p>木下 タロウ (大阪大学特任教授)</p> <p>大阪大学感染症総合教育研究拠点特任教授。東京大学農学部卒業 (1974)、同大学院農学系研究科修士課程修了 (1977)、大阪大学大学院医学研究科博士課程修了 (1981)。医学博士。日本学術振興会奨励研究員 (1981)、ニューヨーク大学博士研究員 (1982)、大阪大学医学部細菌学助手 (1982)、同講師 (1988) を経て、大阪大学微生物病研究所教授 (1990)。同研究所所長 (2003)、同大学免疫学フロンティア研究センター副拠点長 (2007)、同大学微生物病研究所籾本難病解明寄附研究部門教授 (2017)。2022 年から現職。</p> <p>大阪科学賞 (2001)、文部科学大臣表彰 (2010)、IGO Award 2015、武田医学賞 (2017)、日本免疫学会ヒト免疫研究賞 (2017)、紫綬褒章 (2018) 受賞。生化学と免疫学の基礎研究のかたわら適塾の顕彰活動に携わってきた。</p> 

講義動画	『感染症に向き合った日本人、偉大な先人、二人の軌跡』 (その2) 「病を未発に防ぐ」予防医学を目指した北里柴三郎
参考テキスト	森 孝之著『徹底解剖 北里柴三郎 不撓不屈の精神で予防医学の礎を築いた人』株式会社出版文化社 (2022 年)
講師	<p>森 孝之 (北里柴三郎記念室臨時職員)</p> <p>横浜市出身。医学博士。</p> <p>北里大学卒業後、社団法人北里研究所入所ウイルス研究部に配属 (1979 年)、学校法人北里研究所北里柴三郎記念室へ異動 (2008 年)。2020 年に定年退職し現職。</p> <p>医学研究者・北里柴三郎博士の生涯を医史学の観点から研究している。なお、北里大学一般教育部の「北里の世界」の講義を担当している。他方、学外からの講演依頼も多数あり、幅広い年齢層を対象にした講演活動も実施している。</p> 

《問合せ先・申込み先》

公益財団法人国際高等研究所

IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会事務局

〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9-3 Tel : 0774-73-4000 Fax : 0774-73-4005

E-mail : iias19-2015@iias.or.jp URL : <http://www.iias.or.jp/>

【参考】

講義要旨

基本テキスト『「生命観・死生観を考える」～科学技術の発展の下での人間の在り方を問う。～』（及び各担当講師による講義動画は、受講決定後、2月上旬には各受講者に配布・配信することとしておりますが、参考までに、各講師の講義の「あらまし」をご紹介します。

「IIAS 塾ジュニアセミナー」開催委員会事務局

① 『生命とは何か。自然観・生命観、彼我の違いと変遷』

(講師：鈴木晶子先生)

人類は今や、ゲノム技術、核技術、AI 技術など身の丈を超えた技術を手に入れるに至った。技術文明の担い手である人間は、技術のもたらす不測の事態を予測し、それへの対処法を講じなければならない。想像力を超えるほどの長期にわたる責任体系に生きざるを得ない私たちは、この惑星の未来を左右するほどの力を手にしてしまっている。この世に生を享けた人間が生きとし生ける他の生物や無生物とともに過ごす、この惑星での日々。この有限の時間に私たちは何を思い、何を考え、生きていったらよいだろうか。生命について考えることは、人間について、この私について考えることに他ならない。多様な様相を呈する生命にアプローチするには、近代科学的世界観だけでなく、前近代的、非西洋的な思考にも耳を傾ける必要がある。講義では、自然、機械、そして生命（いのち）と向き合う智慧を掘り起こしたい。

② 食と分解から世界をとらえなおすー「いのち」をめぐる文理芸融合的研究

(講師：藤原辰史先生)

2019年冬から世界に広まり、多くの人々の命を奪ったパンデミックは、経済と止めると世界中の都市の空気が澄みわたること、低賃金の移民労働者が働く食肉工場の実態、さらに、熱帯雨林伐採による大規模農場の開発が病原菌と人間のコンタクトを増やすといった現象など、これまで広く知られていなかった問題を私たちに示しました。近年のエネルギー危機も化石燃料に頼らない農業のあり方の模索が、各地で検討されるきっかけとなっています。また、身近なところでは、人とおしゃべりしながら食べることが禁止されたり、制限されたりしたことで、あらためて食を通じて人と触れ合うことが人間存在において本質的な行為であることが明らかになりました。この講義では、新型コロナウイルスの蔓延が私たちにはからずも示した「いのち」と「世界」の抜き差しならない関係を、人間から微生物まで「食べる」（あるいは「分解する」という行為に着目し、人文科学と自然科学双方の視点から新しい学問のあり方について考えてみたいと思います。

③ 『感染症に向き合った日本人、偉大な先人、二人の軌跡』

(その1) 天然痘に挑んだ緒方洪庵

(講師：木下タロウ先生)

私たちは新型コロナウイルスのパンデミックにより、感染症が蔓延したときに社会そして個人がどれほど大きな影響を受けるかを体験しています。幕末の頃、人々は致死率が極めて高い天然痘の脅威にさらされていました。大坂で蘭学塾「適塾」を主宰していた医師の緒方洪庵は、英国で発明され50年かかってようやく長崎にもたらされた天然痘ワクチン（種痘）を関西一円で大規模に接種するシステムを作り天然痘の予防に尽力しました。洪庵は「世のため人のため」をモットーに自ら生き、門下生を導きました。講義では、緒方洪庵と適塾について学び、社会が困難な時期にいかにか生きべきかを考察する手がかりとしたいと思います。

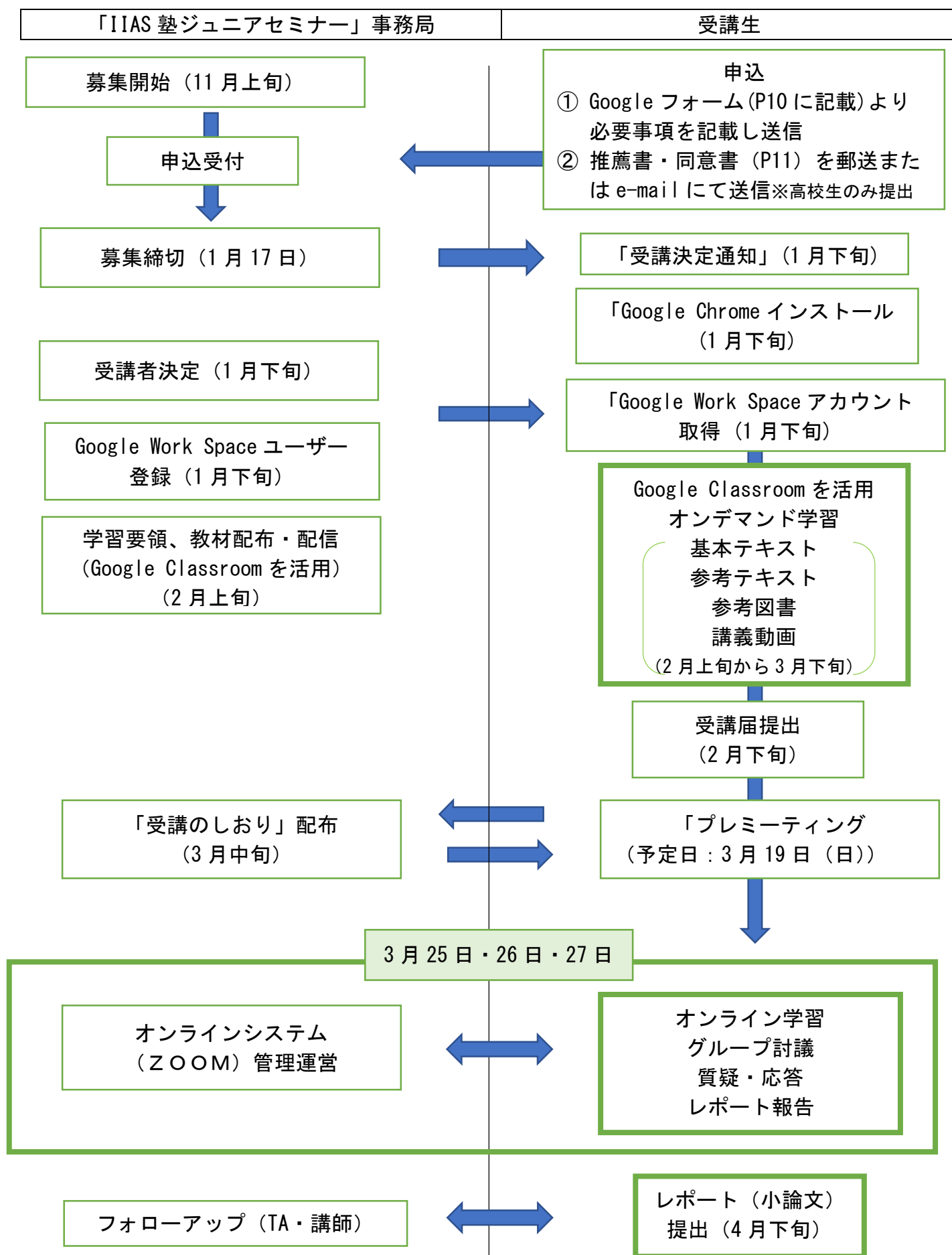
(その2) 公衆衛生に尽くした北里柴三郎

(講師：森孝之先生)

明治・大正時代は伝染病により毎年、数万人規模の犠牲者を出していた。特にコレラ、赤痢、結核は死因の上位にあり、医師や研究者も感染し命を落とす危険に晒されていた。北里柴三郎は東京大学医学部を卒業後、ドイツへ留学しローベルト・コッホ博士から細菌学を学んだ。帰国後、日本初の伝染病研究所を創設し病原体の研究と医薬品・ワクチン等の開発を推進した。一方、予防医学を標榜し公衆衛生の普及に努め、『伝染病予防法』制定にも大きく貢献している。北里柴三郎は、「人の命を救う」という単純明快ではあるが重大な使命感に燃えていた。「衣食住の事を完全にして病気を予防して無病息災延命にする」という信念を抱いており、さらには「一人ひとりが感染対策をすることで地域社会全体での被害を最小限に食い止めることが出来る」と確信していたのである。

この様な先人の理念や行動は現代の感染症対策に有効な指針を与えるのだろうか。

受講までの流れ



応募方法について

提出（送信）するものは、次の2点です

- ① 申込フォーム（Google フォーム）より必要事項を記載し送信
 - ② 「推薦書・同意書」（P11）は、郵送又はE-mailにて送信（※高校生のみ提出必須）
- *いずれも締切は2023年1月17日（火）です

①申込フォームについて（Google フォーム）

■パソコンから

インターネットブラウザ（Internet Explorer, Microsoft Edge, Google Chrome など）を開き、IIAS 塾ジュニアセミナーのウェブサイト

（https://www.iias.or.jp/communication/junior_seminar）の「お申込み」をクリックし、Google フォームにアクセス

■スマートフォンから

右記QRコードから申込専用サイト（Google フォーム）に直接アクセス



②「推薦書・同意書」について

高校生が参加する場合、提出が必須となります。

「推薦書・同意書」の様式を、公益財団法人国際高等研究所のホームページ

（<http://www.iias.or.jp/>）IIAS 塾ジュニアセミナーのページからダウンロード又は11ページをコピーし、以下のいずれかの方法で送付してください。

【E-mail】PDFにし、E-mail：iias19-2015@iias.or.jp に送付

【郵送】「公益財団法人国際高等研究所 IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会事務局」宛てに送付

【参考】（Google フォームの入力項目）

登録事項について

1. 所属先（高等学校名又は大学名）
2. 学年
3. 氏名（漢字）
4. 氏名（ふりがな）
5. 氏名（ローマ字）
6. 生年月日
7. e-mail アドレス
8. 連絡先（郵便番号・住所）
9. 連絡先（電話番号）
10. 受講の動機（200 字程度）
11. あなたの関心事項（200 字程度）

オンライン受講に関する確認について

1. 受講場所（原則自宅）は、インターネットの利用可能な環境にありますか。
2. 受講者が使用する端末は、受講期間中、当該受講生が専用できる環境にありますか。
3. セミナーの受講にあたり、使用する端末はどれですか。（PC, タブレット）
4. 授業やミーティング等で「ZOOM」を利用したことがありますか。
5. 授業やミーティング等で「Google Classroom」を利用したことがありますか。
6. オンラインプレミーティングおよび受講当日、事務局とのZOOM 接続時にインターネットの不具合等で連絡させていただく場合の緊急連絡先（電話番号）を記入してください。
7. その他特記することがあればご記入ください。

※参加者が高校生の場合は本書類をご提出ください

IIAS 塾ジュニアセミナー－「独立自尊の志」養成プログラム－

推薦書・同意書

公益財団法人国際高等研究所
IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会
委員長 松本 紘 様

年 月 日

氏 名

高等学校名・学年

推 薦 書 (高校生の場合)

上記の者は、IIAS 塾ジュニアセミナーの受講生として、適格であると認めるので、その参加を推薦します。

高等学校教員 (自署)

同 意 書 (高校生の場合)

上記の者が、2023年3月25日、26日、27日の3日間、公益財団法人国際高等研究所が主催するIIAS 塾ジュニアセミナーの受講生として参加することに同意します。

保護者 (自署)

* 「推薦書」及び「同意者」の様式は、公益財団法人国際高等研究所のホームページ (<http://www.iias.or.jp/>) IIAS 塾ジュニアセミナーのページからダウンロードできます。ただし、Webによる申込みの場合は、本「推薦書」及び「同意書」をPDF化し、Web「申込書」に添付して送付してください。

提出期限：2023年1月17日(火) 必着